２０２３年度　２学年通信
桃 李 成 蹊（とうりせいけい）」

甲府東高等学校
2023．5．26(金)
第３号

「学年通信」は、生徒の皆さんが読み終わった後、必ず保護者の方に渡してください

学年集会での話に代えて

学年主任　遠藤　祐也

第１回定期試験が終わりましたね。おつかれさまでした。本当は直接学年集会で話をしたい（HR がない私にとって、思っていることをみんなの表情を見ながら伝えられる学年集会はとても貴重なんです）のですが、今回は修学旅行の下見で不在ですので、この通信で話をしたかったことを書きます。

４月５月と２年生になったみんなを見てきました。新入生を迎え、「先輩」として部活動や生徒会活動に取り組む姿勢が随所で見られていますね。新型コロナウイルスは私たちの生活を一変させ、多くの学校行事が中止や縮小を余儀なくされましたが、今年になってから徐々に「それまでの姿」に戻りつつあります。５月４日の吹奏楽部の定期演奏会では久しぶりに県民文化ホールの大ホールで多くのお客さんを集めて実施できました。３年生の部長があいさつの中で「少し生意気だけど頼りになる２年生」と言っていたように、３年生に負けない堂々とした素晴らしい演奏をしてくれました。第３部ではペンライトを持ったお客さんと部員たちが一体となり、本当に感動的なステージでした。

５月１０日からの県総合体育大会でも各競技で多くの２年生が活躍しましたね。５月とはいえ、厳しい日差しの下で自分の限界まで戦った生徒、部内選考で大会には出場できなかったけれど、応援で声が出せるようになった分、仲間のために精一杯声を出していた生徒も多くいました。高体連の大会がないダンス同好会も日頃から練習を重ね、キレのあるダンスを新入生に披露してくれました。そして、生徒会執行部も定期演奏会や高校総体等において、運営を支える屋台骨として堅実な仕事をしてくれました。昨年からみんなを見ている私には一人一人がとても頼もしく、輝いて見えました。これから試合のある野球部もきっと全力プレーをみせてくれることと思います。

さて、一生懸命課外活動に励んでいるみんながさらに輝くために、２点のアドバイスです。

１点目。３年生がすでに引退している部活もありますが、３年生が「高校生」モードから「受験生」モードになる時期が近づいています。７月には生徒会選挙の告示があり、４か月後には君たちが部活動も含め本校の生徒会活動の大黒柱となります。３年生が部活動や学園祭にどのように取り組んでいるのか、その「背中」を見届け、先輩の意図や自分だったらどうするかということについて考えてほしいと思います。そして気づいたことはポートフォリオなどにメモしておき、後で見返せるようにしておくとよいでしょう。

２点目。この２か月間でそれぞれの課外活動に熱心に励んでいたことは前に述べた通りですが、その一方で課内活動と両立できた生徒はまだまだ少ないというのが私の実感です。GW 課題を期日通りに出した生徒はいつもよりもだいぶ少なかったです。第２回要約演習に取り組んだ生徒も数人です。（１００枚印刷したけどね…）「文武」を両立させるのはもちろん容易なことではないですが、高校生はプロ選手ではありません。「文」を犠牲にしないと達成できない「武」では困ります。「真に応援される」部やチームになるために必要なことを一人一人が自覚し、実行しましょう。君たちならできるはずです。

来週から学園祭準備ですね。まだまだ「高校生」が満喫できる２年生。「文」と両立させたみんなの全力が作る、とびきりの学園祭を楽しみにしています！

生まれ持ったもの

２組担任　　谷戸　悠紀

最近「遺伝子の不都合な真実―すべての能力は遺伝である（ちくま新書）」という本を読んだ。この本では、一卵性双生児（遺伝と育成環境が同じ）と二卵性双生児（育成環境が同じ）を比較する研究などの結果から、私たちが自由意志で獲得できていると思っていることの多くが、実は遺伝の影響がとても大きいことが述べられている。（ここでの遺伝とは生まれつきの力という意味。）例えば IQ は児童期には環境の影響が大きいが、青年期、成人期となるにつれてどんどん遺伝の影響が大きくなっていく。また能力を分野別にみると音楽、執筆、数学、スポーツに関しては遺伝で大部分が決まるというほど影響があるといい、美術や外国語、記憶力、知識の深さも、環境の影響に対して、遺伝の影響が半分以上を占めるらしい。アルコール中毒や喫煙、マリファナ中毒といった物質依存や、反社会性などの行動も遺伝の影響が強いようだ。意外なところは身体的特徴で、指紋のパターンや身長などは、ほぼ 100%遺伝の影響であるのはわかるが、私たちが自分でコントロールできると思っている体重も遺伝の影響がほとんどを占めるということだ。（確かに一卵性の双子で体重が大きく異なる人はあまり見ない気がする。）

この本の内容が正しいとすれば、私たち教員が生業としている「教育」という活動の意義は、いったい何なのだろうと改めて考えこんでしまった。（ついでにダイエットの意義についても考えてしまった。）私たちは学習と教育で人は変われると信じてやってきたし、実際大きく成長した生徒を見てきた。しかし、それらは実際には生徒の「生まれ持った力」が発現しただけだったのだろうか。努力した生徒が夢を実現する姿を私たちは確かに見てきたが、それは「努力する才能」を持っていたためだったのだろうか。これは、とてもここには書ききれない非常に難しく根本的な問いだと思う。それでも私は意志と努力の価値を信じていきたいと思っている。

一方で、この著者は教育について別の視点も与えてくれた。それは、人が生まれつき持っている能力を見出すのも、教育の重要な使命であるということだ。例えばフィギュアスケートをやれば物凄い成績を収められる人物がいるとして、その人物の遺伝子に「フィギュアスケートをやることに特化した遺伝子」があるわけではない。いくつかの力があることを総合に判断して「この人はフィギュアスケートをやればすごい力を発揮する」ことを見出す人間が必要であり、これこそが教育の重要な使命なのだと。思えば私たちはいわゆる「学歴社会」と呼ばれる、偏差値や大会順位など単一で狭い尺度でしか見られない社会で生きてきた。それを乗り越えようとする今、生徒の生まれ持った力を信じ、柔軟に考え、道を示すことが大切なのだろう。遺伝は非常に大きい要素だからこそ、それを生かしたり、それを乗り越えるために、「生まれ持ったもの」に正面から向き合うべきだと、一向にへこまない自分のお腹を見て思うのだった。

６月の主な行事予定

６月 １日（木）　学園祭準備期間（～15 日）　第１回バイク免許取得希望者説明会（昼）
　６日（火）　AM カセット▲
　１４日（水）　②③高校生のための文化講演会
　１５日（木）　③LHR　④⑤⑥学園祭準備・リハ
　１６日（金）　**蒼龍祭**（１日目：文化ホール）
　１９日（月）　**蒼龍祭**（２日目：保護者公開）
　２０日（火）　①②カット　③片付け・清掃　午後授業
　２１日（水）　AM カセット▲
　　登校時マナーアップ運動　眼科検診（２年は抽出）
　２４日（土）　土曜講座
　２７日（火）　10 短　⑦野球部・インターハイ等壮行会　ＰＭカセット▼
　２９日（木）　選挙管理委員会（昼）